

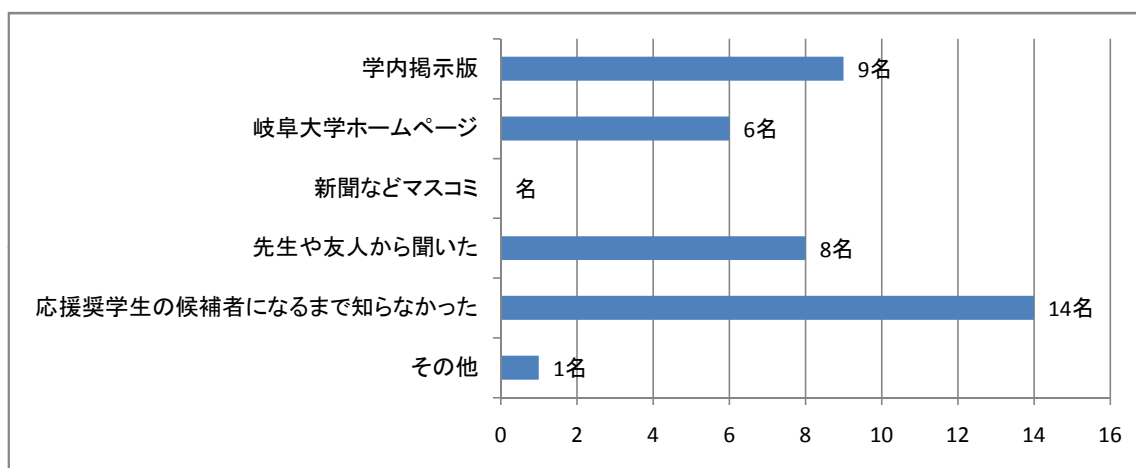
岐阜大学基金 応援奨学生に関するアンケート結果

平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的とした「応援奨学生」制度を開始し、平成24年度までに51名の方に支給しております。応援奨学生として奨学金を受給された方の意見等をもとに、今後の参考とするためにアンケートを実施した。

回答者数38名

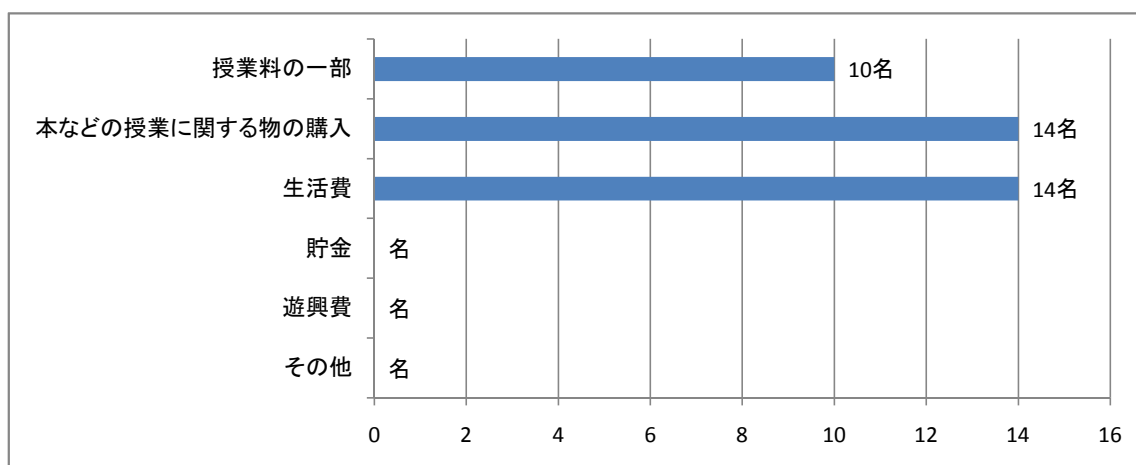
1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

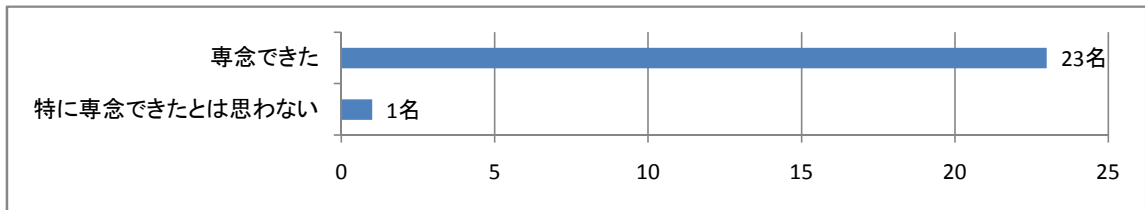


2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

(1) 主な使途について



(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



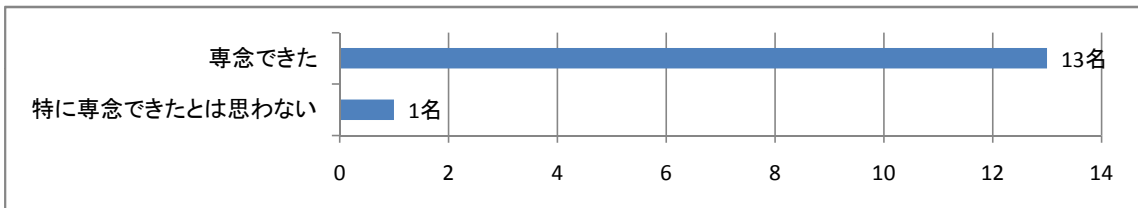
専念できた理由

- ・医学書等の高価な専門書を購入することができた。
- ・PCなどの購入に役立った。
- ・購入したかった本を購入し、授業への理解を深めた。
- ・授業料を賄うためにアルバイトをしていたが、その時間を減らし、学業に集中できた。
- ・授業料の支払いに用途できたので、精神的に余裕ができた。
- ・洋書の専門書の購入や研究に必要なソフトウェアなどが購入できた。
- ・研究の必要経費に充てることができた。
- ・大学院進学時に必要な入学金の用意に困っていたが、その心配がなくなった。

特に専念できなかった理由

- ・授業料1年分に金額が満たなく、アルバイトをしたため。

(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



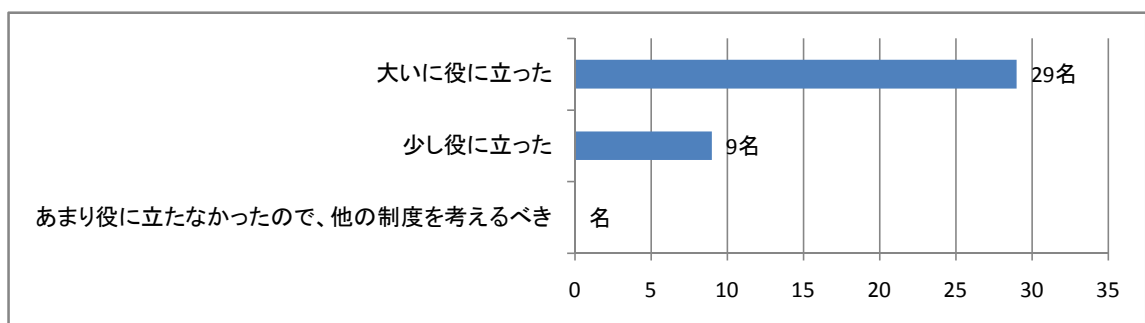
専念できた理由

- ・金銭的な余裕に加え、アルバイトが減ることで精神的な余裕ができ、研究に集中できた。
- ・生活費の補充で経済的な心配は少なくなった。
- ・外食ができるようになり、自炊する時間を減らせた。
- ・交通費・宿泊費を気にせず学会等に参加できた。
- ・ありがたい気持ちの上で頑張れた。
- ・In the scholarship term, I had enough time to study in my Lab and no need for looking for part-time job.

特に専念できなかった理由

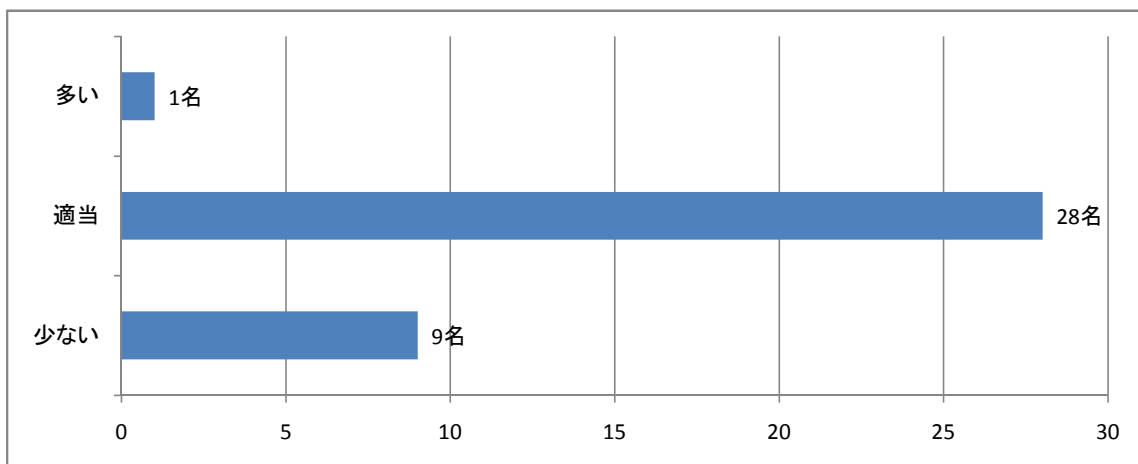
- ・アルバイトの時間が多く、勉強する時間が少なかった。

3 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



4 奨学金の給付額についてお伺いします。

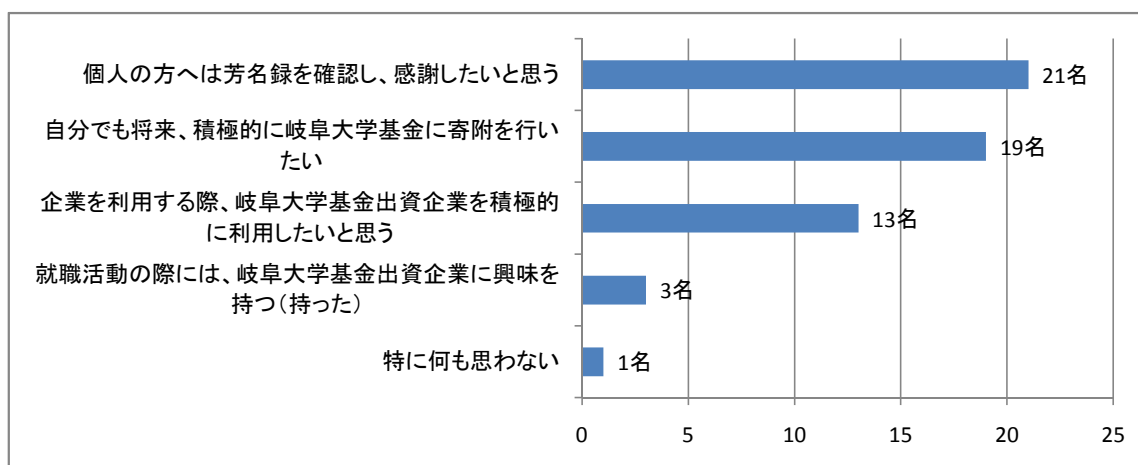
学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



少ないと回答した内訳（具体的な金額）

5万円/月	5名	7万円/月	1名
10万円/月	2名	年間授業料相当分	1名

5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



《奨学金受給者から次のような声が多数寄せられています》

- 授業料の支払い，教科書や物品を購入することで学業に専念することができ，充実した学生生活になりました。
- 応援奨学生に選出されたことが精神的な励みとなって勉学の意識が高まり，より積極的な学習を行うことができました。
- ご寄附をして頂いた方々に感謝の気持ちを忘れず，社会への還元や貢献できることを目指したいと思います。